

文法	/12	重要語	/18	文脈	/51	段落構成	/8	主題	/11	合計	/100
----	-----	-----	-----	----	-----	------	----	----	-----	----	------

歌物語

伊勢物語

東下り

教科書

p.61  
p.63

1 文法 次の各文における傍線部の助詞「ば」の用法をそれぞれ選べ。

- (1) 富士の山を見れば、五月のつごもりに、雪いと白う降り。 (三・5)  
 (2) 京には見えぬ鳥なれば、みな人見知らず。 (三・2)

- ア 順接の仮定条件 イ 順接の確定条件 (原因・理由)  
 ウ 順接の確定条件 (偶然条件)

(1)
(2)

〈各1点〉

2 文法 次の空欄に適切な語句を入れて、助詞の表を完成させよ。

〈各1点〉

し	ば	助詞	
		種類	接続
副助詞	接続助詞	未然形	1 順接の仮定条件 (…ならば／…たら／…ば)
		已然形	2 順接の確定条件
種々の語	種々の語	(1) 原因・理由 (a)	( )
		(2) 偶然条件 (b)	( )
		(3) 恒時条件 (c)	( )
		(d) (特に訳さない)	( )

意味・用法 (現代語訳)

3 文法 次の文における傍線部の「し」を文法的に説明せよ。

唐衣きつつなれにしつましあればはるるきぬる旅をしぞ思ふ (六・9)

〈各2点〉

(3)	(2)	(1)

重要語の確認

1 語句 次の語句の本文中での意味として最も

適切なものを、それぞれ選べ。

〈各2点〉

- (1) 惑ふ (三・3) ア あわてる イ 戸惑う ウ さまよう  
 (2) 文 (三・2) ア 学問 イ 手紙 ウ 書物  
 (3) うつつ (三・3) ア 現実 イ まぼろし ウ 夢  
 (4) わぶ (三・14) ア 謝罪する イ 落ちぶれる  
 ウ 嘆く

2 語句 次の空欄に入るように、傍線部の意味を答えよ。

〈各2点〉

- (1) いとおもしろく咲きたり。 (六・6) 咲いている。  
 (2) たいそう「すずるなる目を見る」 (六・12) 「目に遭う」  
 (3) 五月のつごもりに、 (三・5) 「目に遭う」  
 (4) 五月の「みな人ものわびしくて」 (三・15) 「て、人々は皆」

3 語句 次の漢字の読みを現代仮名遣いで答え

〈各1点〉

- (1) 唐衣 (六・9) 「  
 (2) 修行者 (六・13) 「

文脈を理解する

1 提讀 「身をえうなきものに思ひなして」(六・一)を現代語訳せよ。 <2点>

□

2 文法 次の各文における傍線部の格助詞の用法をそれぞれ選べ。 <各1点>

- (1) 住むべき国求めに。(六・二)
- (2) 一人二人して行きけり。(六・三)
- (3) 八橋といふ所にいたりぬ。(六・四)
- (4) ある人のいはく、(六・七)
- (5) 旅の心をよめ。(六・八)

- ア 手段・方法
- イ 動作を共にする相手
- ウ 帰着点
- エ 動作の目的
- オ 動作の目的
- カ 連体修飾格

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

3 「下りみて」(六・六)について、

(1) 文法 「下りる」の活用の種類と活用形を答えよ。 <完答1点>

□

(2) 語句 「下りみて」とはどのような動作か。最も適当なものを、次から選べ。 <2点>

- ア 馬から降りて座る
- イ 都からやって来てここに座る
- ウ 牛車から降りて座る
- エ 船から降りて座る

□

第二段落

4 和歌 「かきつばたといふ五文字を句の上に据ゑて」(二・七)のようにして歌を詠むことを何というか。漢字二字で答えよ。 <2点>

□

5 和歌 「唐衣」(六・九)の歌に用いられている次の修辭を抜き出せ。 <完答各2点>

- (1) 枕詞 ( ) 導き出す語 ( )
- (2) 序詞 ( ) 導き出す語 ( )
- (3) 掛詞 ( ) ( )
- (4) 「唐衣」の縁語 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

6 文法 次の各文における傍線部の助詞の説明として最も適当なものを、それぞれ選べ。 <各1点>

- (1) いと暗う細きに、(六・12)
- (2) 見ることと思ふに、(六・12)

- ア 接続助詞(単純な接続)
- イ 格助詞(添加)
- ウ 接続助詞(逆接の確定条件)
- エ 格助詞(原因・理由)

7 「いかでかいまする」(六・13)について、

(1) 文法 「いまする」の敬語の種類と敬意の対象を答えよ。

□

(2) 提讀 「いかでかいまする」を現代語訳せよ。 <2点>

□

8\*

**内容** 「その人」(三・一)とは、男にとってどのような人か。答えよ。  
 (2点)

--

9

「駿河なる…」(三・三)の歌について、

**和歌** 序詞を抜き出し、それが導き出す語を答えよ。  
 (各2点)

序詞

--

導き出す語

--

**内容** 「夢」と対応している言葉を抜き出せ。

--

**常識** 「夢にも人にはあはぬなりけり」にはどのような意味が込められているか。最も適当なものを、次から選べ。

- ア 夢であなたに会わないのは、私を思ってくれないからだ。
- イ 夢で私に会わないのは、あなたを思っていないからだ。
- ウ 夢でお互いに会わないのは、お互いに思っていないからだ。
- エ 夢であなたに会わないのは、あなたを思っていないからだ。

--

第四段落

第三段落

10

「時知らぬ…」(三・七)の歌について、  
**文法** 係助詞と結びの語を抜き出せ。  
 (完答2点)

--

**内容** 富士の山に対して「時知らぬ山」と驚嘆しているのはなぜか。二十字以内で答えよ。  
 (3点)

--

11\*

**指示** 「こゝ」(三・九)とは、具体的にはどこか。本文中から一語で抜き出せ。  
 (2点)

--

12

**語句** 「塩尻」(三・10)はどのような形をしているか。答えよ。  
 (1点)

--

13

**文法** 次の各文の傍線部の助詞の説明として最も適当なものを、それぞれ選べ。  
 (各1点)

(1) 「はや舟に乗れ。日も暮れぬ。」と言ふに、(三・15)

(2) さる折しも、(三・1)

(3) 水の上遊びつつ、(三・2)

- ア 接続助詞(動作の並行)
- イ 格助詞(引用)
- ウ 副助詞(強意)
- エ 格助詞(並列)

(1)	
(2)	
(3)	

